

進学事典

岡山

県立倉敷鷺羽高校
くらしほこう

『進学事典』を使った授業が生徒の視野を広げる一助に

2005年に普通科・商業科をへ

ースとした「未来創造科」高校として誕生した倉敷鷺羽高校。生徒の進路は大学進学から就職まで幅広く、1年次後期で2つ、2年次は4つ、3年次には8つの履修モデルから希望進路に応じた選択をしていく。1年次後期に行う校内ガイダンス「職業別体験講座」や、学校設定科目「未来創造学」、「総合的な学習の時間」(左図)などでキャリア教育を行い、生徒の「進路創造」を支援するカリキュラムとなっている。

リクルートサービスを活用した指導実践例

同校では、今年1月、最終的な進路の絞り込みを始める3年次に向け、2年次の「総合的な学習の時間」2時間をかけて、「進学事典」を使った授業を行った。大学進学希望者は「学問分野選択・決定シート」、専門学校進学希望者は「仕事分野選択・決定シート」に取り組み、就職希望者は先生が用意した複数の求人票を比較することで自分が大切にしたい価値観や、比較の視座、多様な学校の

存在に気づくことが目的だ。

「学校比較シート」に取り組んで、学校による学費の違いを初めて知った生徒が多くなりました」と実施時に2年次を担当していた新谷忠史先生。生徒へのアンケート結果をみると、「学費が高くてびっくりした」「学校がたくさんあることを知った」という声が目立ったそうだ。

志望を明確に言える生徒が増えた

進路副課長の近藤康之先生は「1クに取り組んだことで「生徒に「進路を考えにやいけん」という雰囲気広がりが、低きに流されて停滞中だった生徒も「ちょっとがんばらな」と思い直した様子でした」という。3年次4月の進路希望調査では以前と比べて調査票に書かれる学校名が増え、「自分の希望を言える生徒が増えています」(新谷先生)と手ごたえを感じている。

スクールデータ

生徒数 / 787人(男子350人・女子437人)

未来創造科20学級

進路状況(2009年度) / 大学・短大進学44.2%、専各進学31.3%、就職16.2%、その他8.3%

岡山県倉敷市児島味野山田町2301番地

電話 / 086-472-2888 URL / <http://www.washu.okayama-c.ed.jp/>

倉敷鷺羽高校のキャリア教育の取り組み

	未来創造学	総合的な学習の時間
1年次	未来創造学I 「経済を知る」	1.学校生活 / 2.仕事調べ / 3.学問調べ / 4.自己PR / 5.進路選択 / 6.生き方を考える / 7.就職・進学の選択 / 8.職業・学問研究 / 9.社会人として求められるもの / 10.労働の意味や意義 / 11.地域の産業や学問 / 12.資格や学習目標 / 13.進路の具体化 / 14.具体的目標設定と行動計画 / 15.自己理解と実力養成 / 16.出願とその対策
2年次	未来創造学II 「インターンシップ」	「総合的な学習の時間」(1~3年次前期)が3年間の進路指導の基盤となり、「未来創造学」(1~3年次)、「ビジネス基礎(マナー指導/ビジネスとは/ビジネス計算/自分と仕事)」(1年次)で社会人としての素養を学ぶ。
3年次	未来創造学III 自己表現 課題研究	



進路副課長

近藤康之先生(左)

将来どこでどんな風に自分が輝いていけるのかを考えてほしいと思っています。

1年次主任

新谷忠史先生(右)

お尻を叩いて勉強させたくはありません。「やりたい」という気持ちが大大事ですね。